

■部会便り

制度部会 2006年度の活動テーマ

－排出権・RPS・規制緩和等々－

日本風力発電協会 理事 制度部会長 **阿部 康浩**

(川崎重工株式会社)

はじめに

時間のたつのは（特に年齢を重ねると）早いもので2006年も（原稿執筆の時点で）あっという間に11月、皆さんボランティアで活動をすすめていることもあって、なかなか思うようには進みません。

今回の（そして初めての）部会便りでは、今年度の制度部会の活動について簡単にご紹介致します。

次回以降は活動報告や、会員の皆さんのお仕事に役立つ情報を発信していければ…と思っていますが……乞うご期待。

今年度の活動内容

この原稿を書いている時点までに3回の制度部会を開催致しました。

第1回では今年度の活動方針について議論し、第2回では各活動テーマの論点整理を行ったうえで、メインテーマとサブテーマを選びました。

メインテーマについては毎回の制度部会の中でワーキンググループとして議論していきます。

またサブテーマについては適宜活動していきます。

メインテーマ

今年度のメインテーマは「排出権」です。

京都議定書の発効を受け、また、今後の自然エネルギーの導入に大きな影響を与えるものとして、今年度に限らず継続して研究していきます。

サブテーマ

メインテーマの他に、サブテーマとして、「風力発電事業に関わる税制」と「規制緩和」をサブテーマ（自主テーマ）として適宜活動を行い増す。

RPS

皆さんご承知の通り、今年度は2014年度のRPS目標量を設定する年です。

既に総合資源エネルギー調査会新エネルギー一部会の中に「RPS小委員会」が設けられ、11月6日に第1回の委員会が開催されました。

2007年2月頃にはパブリックコメントの募集が予定されており、その対応も制度部会で行うこととしています。

皆さんのご参加を

制度部会では、幅広い業種の方々にご参加いただき、議論を深めていきたいと考えております。

いつでもメンバーの募集を行っておりますので、お気軽に事務局までお問い合わせ下さい。

終わりに

第1回の「制度部会便り」は非常に簡単なものとなってしまいましたが、今後も会員の皆さんに役立つ活動を行い、その内容を発信していければと思っています。

幅広いご参加と、ご支援をお願い申し上げます。

以上